

秋のロードレース

秋のロードレース大会が9月7日、訓子府中学校グラウンド発着のコースで開かれ、幼児から一般まで224人が参加しました。

コースは、1kmから5kmまでで、訓中から常呂川堤防を走り、また訓中に戻ってきます。

多数の参加者たちは、小雨の中、堤防で健脚を競い、ゴールをめざしていました。



園児がポスター配布し「火の用心！」

秋の火災予防運動（10月15日～31日）にちなみ、わくわく園の4歳児と5歳児のわくわく幼年消防クラブの園児60人が、9月11日と12日に町内の企業など95か所を回り、防火を呼び掛けました。

法被（はっぴ）を着た園児が、自分たちがモデルとなったポスターを配布し「火事に気を付けてください」と呼び掛けていました。



秋まつり素人縁日にぎわう

「秋まつりくんねっぶ元気ステージ&素人縁日」が9月14日と15日、仲町公共駐車場で行われ、家族連れなどにぎわいました。

会場には、金魚すくいやチョコバナナなどの縁日のほか、特設ステージでは、キッズダンスや吹奏楽演奏などが繰り広げられ、訓子府の秋を楽しみました。

また、くんねっぶ歴史館内で秋の子ども祭りも開催され、着物の着付けやネイルアートなど、子どもたちは楽しい時間を過ごしていました。



わくわく園おまつりごっこ

わくわく園の「おまつりごっこ」が、9月20日に行われ、園児たちは手づくりのみこしを担ぎ、園内グラウンドを歩きました。クラスごとに製作したみこしを保護者らに見守られながら、元気いっぱい披露していました。



まちのわだい

～カメラスケッチ～



高知県の農業高校生が来町

高知県の農業高校生が8月23日に農業体験学習を目的に来町しました。

北見地方1市3町で毎年受け入れていますが、今年訓子府町には高知農業高校の十河陽平さんが訪れ「多くのことを学んで、将来に生かしたい」と抱負を話し、23日から27日まで町内の畑作農家で農業を体験しました。



訓高ボランティア部4人

特殊詐欺の注意喚起を行う



訓子府高校ボランティア部の生徒4人が札幌や北見に住む自身の祖父母宛てに特殊詐欺被害防止に向けて注意を促す手紙を書き、8月23日に投函しました。

この活動は、北海道警察北見方面本部と北見警察署が「家族の絆を強化した特殊詐欺被害防止の取り組み」として行われました。

手紙には、「『詐欺には絶対引かからない』と油断しないで気を付けてね」などと被害に遭わないように願いを込めて、書いていました。

居小野外調査学習

居武士小学校の「秋の野外調査学習」が、9月6日に行われました。

児童がテーマをもって、校外に繰り出しさまざまな学習をする活動で、毎年実施しています。今回、1、2年生は図書館を見学し、本の借り方や図書館での仕事を経験するなど、真剣なまなざしで校外学習に取り組んでいました。



居小6年生 養蜂学習での成果を発表

居武士小学校の6年生が9月2日に、わくわく園の5歳児に養蜂学習で学んだことをクイズなどを交えて紹介しました。

6年生3人は、町内で養蜂業を営んでいる菅野さんの協力を得て養蜂学習を行い、今年は2回採蜜しました。

採蜜した蜂蜜の一部は、町給食センターとわくわく園に寄贈し、給食のメニューとして使われました。

